

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

1	テーマ	(子ども理解シリーズ) 保育と子どものダイバーシティ (多様性)	90分
	講 師	戸田 有一 氏 (大阪教育大学 教育学部 教授)	
	内 容	今まで私たちは、「だいたい同じ」子どもたちの中に個別の配慮を要する子がいる実践を「〇〇保育」と呼び、実践の知恵を共有してきました。私自身は「障害を共に生きる保育」「多文化共生保育」などのテーマで、仲間と実践支援や研究をしてきました。そのなかで、「外国にルーツがあり、しょうがいの当事者で、ひとり親家庭の子」にも出会ってきました。この子の保育は「〇〇保育」という名称で括れるでしょうか。いろいろな「〇〇保育」を別々に論じるのには限界があるようです。近年、子どもたちの多様な状態を「ダイバーシティ」と呼び、実践の知恵を共有することが目指されています。そのようなことを、一緒に考えていきたいと思います。	
	俯瞰図番号	A1: 愛されて育つ子ども > 子どもの理解 > 多様な子どもの受容	
	備 考	<こんな人におすすめ> 子ども一人一人が持つ違いや、多様な状況に対して十分に理解ができていないと感じられる方 <キーワード> 多様性、個別の援助、子どもの持つニーズ、多文化共生	
2	テーマ	(安全・衛生シリーズ) 保育事故をなくすために私たちにできること	120分
	講 師	平沼 博将 氏 (大阪電気通信大学 共通教育機構 人間科学教育研究センター 教授)	
	内 容	本来、子どもたちの命を守り、発達を保障すべき教育・保育施設で子どもが死亡するなどの重大事故が後を絶ちません。2021年に保育所、幼稚園、認定こども園などの教育・保育施設で起こった重大事故は1,872件もあり、この6年間で約4.5倍に増加しています。2022年9月には静岡県牧之原市の認定こども園で通園バス内に置き去りにされた3歳児が熱中症で死亡するという痛ましい事故も起こってしまいました。 なぜ保育事故はくり返されてしまうのか。重大事故につながりやすい「睡眠中」「食事中」「プール・水遊び中」「散歩・園外保育中」における事故予防を中心に、子どもたちの命を守るために私たちにできることは何かを考えます。	
	俯瞰図番号	A2 (マネジメント): 愛されて育つ子ども > 子どもの健康と安全 > 健康的な園生活 > 就寝管理/呼吸確認 (定時・SIDS対応)、子どもの生活環境に対する分析と提言	
	備 考	<キーワード> 重大事故、死亡事故、乳児、就寝管理、水遊び、園外保育	
3	テーマ	(安全・衛生シリーズ) 乳幼児の重大事故・死亡事故の実態と事故予防 ～子どもの命と安全を守るために～	60分 再配信 R3.12 大研
	講 師	藤井 真希 氏 (赤ちゃんの急死を考える会 (ISA)、保育の重大事故をなくすネットワーク)	
	内 容	子どもたちの健やかな成長の場である教育・保育施設で、毎年複数の子どもたちが亡くなっているという事実をご存知でしょうか。重大事故はなぜ起こるのか、特に多い乳児や低年齢児の死亡事故を防ぐには何が必要なのか、事故の実例を通じて考えます。	
	俯瞰図番号	A2 (マネジメント): 愛されて育つ子ども > 健康的な園生活 > 就寝管理/呼吸確認 (定時・SIDS対応)、子どもの生活環境に対する分析と提言	
	備 考	<キーワード> 死亡事故、重大事故、乳児、就寝管理、呼吸管理	

＊配信予定の記載がない限りR5.2.22～R5.5.19の録画配信となります。

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

4	テーマ	(安全・衛生シリーズ) 小児看護の基礎知識 ある小児科医の診察室から	60分
	講 師	松岡 太郎 氏 (豊中市保健所 所長)	
	内 容	子どもの「風邪」は、高熱が出る、微熱が続く、咳が長引くなど、よく分からないこと、不安なことを養育者にもたらしめます。私は、当の本人は「1」の程度の病気」であるのに、養育者など周りの大人が知識不足や余計な不安のため「5 や10 の程度」と考えて過剰な対応をし、その子どもの不安を増大させないことが重要だと考えています。そのためには、いざお熱が出てからではなく、日々のお元気な時から、「風邪」とその対処法についての基礎知識をしっかりと理解しておくことが重要です。 この研修内容が、まず子どもに接する専門職の皆さんに理解され、さらに養育者にも広がり、その安心に少しでも寄与することを願っています。	
	俯瞰図番号	A2：愛されて育つ子ども＞子どもの健康と安全（安全な園生活）＞安全な園生活＞小児保健（疾病含む）	
	備 考	＜こんな人におすすめ＞ 子どもの疾病についての基礎知識が欲しい人 ＜キーワード＞発熱、病気の対応、嘔吐下痢、ウイルスと細菌	
5	テーマ	ロボットやアンドロイドの開発を通じた人間理解	30分
	講 師	石黒 浩 氏 (大阪大学大学院基礎工学研究科 システム創成専攻 教授)	
	内 容	「人間ロボット・アバター共生社会」を提唱する大阪大学大学院の石黒浩先生の研究や構想をお話いただきました。モノを作る、モノを運ぶ機能をもつ従来のロボットとは一線を画した「人と関わり、その関わりを記憶していくロボット」を20 数年前に開発したのち、生身の人間が操作する遠隔操作ロボット・アバター、プログラミングされた自律型ロボットなど、人と関わるロボットやアバターの開発を続けておられます。これらの研究は、人を理解し、人の可能性を探究するとともに、人と人とのつながりを作ることを目指して取り組まれています。生身の人間との対話や関わりを苦手とする自閉症児や認知症の高齢者がロボットやアバターとうまくコミュニケーションをとる姿、医師のいない過疎地での子どもの健康診断の実施、コロナ禍で外部者が入れない保育施設や介護施設への遠隔操作ロボット・アバターを利用した訪問、様々な障害を抱える方の遠隔操作ロボット・アバターを通じた就業や社会貢献など、現代そして将来の社会の一つのあり方を知るとともに、人と人との関わることの本質を示唆いただける講演です。	
	俯瞰図番号	A4：愛されて育つ子ども＞愛されていると感じられる保育＞愛情深い保育＞人間観・子ども観	
	備 考	＜キーワード＞人間理解、コミュニケーション、ロボット・アバター、自閉症スペクトラム、特別支援	
6	テーマ	(子ども理解シリーズ) 子どものいやいや どうすればいいの？	90分 R5.4.25まで 配信予定
	講 師	大河原 美以 氏 (大河原美以心理療法研究室 室長)	
	内 容	この講演動画は 「今」乳幼児を育てているママ・パパたちに見ていただくために作成したものです。幼児の健康な「かんしゃく」への対応や「しつけ」についての理解を深めていただけることを願っています。	
	俯瞰図番号	A4：愛されて育つ子ども＞愛されていると感じられる保育＞愛情深い保育＞心の教育・保育、心・情動に向き合った保育、愛されていると感じられる保育、安心・安全を感じられる保育、自己肯定感・自尊感情の醸成、虐待・DV防止	
	備 考	＜こんな人におすすめ＞ ご自身が子育て中の方、子育て支援に携わる方 ＜キーワード＞感情コントロール、感情の社会化、がまんする力、しつけ、かんしゃく	

＊配信予定の記載がない限りR5.2.22～R5.5.19の録画配信となります。

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

7	テーマ	(子どもの発達シリーズ) 感情コントロールの力はどのようにして育つのか (前編)	90分 R5.4.25まで 配信予定
	講 師	大河原 美以 氏 (大河原美以心理療法研究室 室長)	
	内 容	大人が子どもの不快感情 (いやな気持ち) をどう扱うのかということが、子どもの感情コントロールの育ちにおいてきわめて重要な影響をおよぼすことを、脳のしくみに基づいて解説しました。本研修は、講座47番との前後編の二つ組研修です。	
	俯瞰図番号	A4: 愛されて育つ子ども>愛されていると感じられる保育>愛情深い保育>心の教育・保育、心・情動に向き合った保育、愛されていると感じられる保育、安心・安全を感じられる保育、自己肯定感・自尊感情の醸成	
	備 考	<キーワード>感情コントロール、感情の社会化、負の感情、防衛、マインドフルネス	
8	テーマ	(子ども理解シリーズ) 第26次プロジェクト 0歳児から6歳児までの保育・教育を考える ～非認知的能力はどのようにして育まれるのか～	90分 再配信 R3.12 大研
	講 師	助言者 北野 幸子 氏 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授) 発表者 第26次プロジェクトメンバー 司 会 岡部 祐輝 氏 (大阪府私立幼稚園連盟教育研究所 所長)	
	内 容	第26次プロジェクトは令和3年度で開始6年目となり、活動最終年度となりました。これまで、乳幼児期の子どもの育ちについて、事実をもとに丁寧に解釈したり、その解釈の中で育っている非認知的な育ちは何かを検討したりしてきました。この活動期間の中で収集した事例をもとに、私たちが非認知的能力という観点で子どもの何が育っていると考えたか。それらをいかに保護者をはじめとする園内外の人に伝えようとしてきたかなど、研究のこれまでの過程と明らかになったことを踏まえて発表します。	
	俯瞰図番号	B2: 子どもと共に育つ保育者>子どもの心に寄り添い、共に生活し育ち合う>乳児期と児童期の理解>子どもの理解	
	備 考	<キーワード>乳児・幼児の育ち、非認知的能力の育ち、子ども理解、10の姿、保育者の専門性、保育の可視化・発信	
9	テーマ	(子ども理解シリーズ) こども発見	60分 再配信 R3.3 大研 R3.12 大研
	講 師	杉本 圭隆 氏 (むつみこども園 園長)	
	内 容	こどもを大人と同じ人としてみる。こどもを大人とは違う価値観をもつ人としてみる。こどもを一人ひとりがユニークな存在としてみる。あたりまえだと思いかもしれませんが、日々のこどもとの関わりを振り返ってみると、意外と大人の都合や偏見、思いこみが邪魔をして、素直にこどもと接することができていないことがあるものです。もちろん、これはどんな大人にも起こりうることです。大人とこどもの目線はズれているのです。この研修は、少し目線を下ろし、こどものすごさやおもしろさ、多様さをみつめ直すことで、こどもを (再) 発見することを目的として構成しています。受けた次の日からいつもよりちょっと保育が楽しくなる。そんな研修になることを願っています。	
	俯瞰図番号	B2: 子どもと共に育つ保育者>子どもの心に寄り添い、ともに生活し、育ち合う>子どもの理解>多様な理解に出会う	
	備 考	<キーワード>子どもをみとる、多様性理解、発達理解、人権意識	

* 配信予定の記載がない限りR5.2.22～R5.5.19の録画配信となります。

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

10	テーマ	(ECEQ®シリーズ) 保育の質と評価2 ～ECEQ®の質的検証から見てきた園の独自性や多様性を尊重した効果的な学校評価～	90分 再配信 R3.12 大研
	講 師	淀川 裕美 氏 (千葉大学 教育学部 幼児教育教室 准教授)	
	内 容	一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構(以下、機構)が開発し実施してきたECEQ®(イーセック:公開保育を活用した保育の質向上システム)の効果の質的な検証を、2019-2020年度に東京大学大学院教育学部附属発達保育実践政策学センター(CEDEP:セデップ)に委託しました。2019年度の質的検証の結果は、再配信の「保育の質と評価～ECEQ®の質的検証から見てきたECEQ®の効果～」(講座52番)でご紹介しています。本講座では、2020年度の質的検証で行われたアンケートおよびECEQ®実施園の園長と教職員、ECEQ®コーディネーターへのインタビューの分析結果を中心に、ECEQ®実施園の独自性や多様性を尊重した効果的な学校評価についてご紹介いただきます。	
	俯瞰図番号	B2(マネジメント) : 子どもと共に育つ保育者>子どもの心に寄り添い、共に生活し育ち合う>子どもの理解>〈公開保育〉>自園の良さと課題を理解する、自園の保育を他園に公開する、公開保育をコーディネートする	
	備 考	＜こんな人におすすめ＞今後ECEQ®の実施を控えている園、実施を検討している園、ECEQ®コーディネーター養成講座の受講を検討されている方 ＜キーワード＞保育の質、評価、ECEQ®、園内での話し合い、ミドルリーダーの育成	
11	テーマ	(教材研究シリーズ) 幼少期における音楽教育のあり方	60分 再配信 R3.8.2～9.7 R3.12 大研
	講 師	出原 大 氏 (むぎの穂保育園 園長)	
	内 容	現場ですぐに使えるようなノウハウを学ぶ(教材研究シリーズ)で、幼児期の子どもに適した音楽遊びの方法を学びます。この研修動画は、実際に音楽活動をしている子どもの姿や講師の演奏を見ながら、音楽活動の楽器のノウハウや展開方法を理解するだけでなく、幼稚園教育要領に即した音楽活動とはどのようにあるべきかを学ぶことを目的としています。	
	俯瞰図番号	B3 : 子どもと共に育つ保育者>遊びの専門性>〈自分の得意分野を持ち、保育に生かす〉>音楽	
	備 考	＜キーワード＞音楽あそび、音楽遊びの方法、楽器の使用・演奏方法	
12	テーマ	(教材研究シリーズ) 乳幼児期における音楽遊びの実践	60分
	講 師	出原 大 氏 (むぎの穂保育園 園長)	
	内 容	現場ですぐに使えるようなノウハウを学ぶ(教材研究シリーズ)で、乳幼児期の子どもに適した音楽遊びの方法を学びます。この研修動画は、実際に音楽活動をしている子どもの姿や講師の演奏を見ながら、音楽活動の楽器のノウハウや展開方法を理解するだけでなく、乳幼児期に即した音楽活動とはどのようにあるべきかを学ぶことを目的としています。	
	俯瞰図番号	B3 : 子どもと共に育つ保育者>遊びの専門性>〈自分の得意分野を持ち、保育に生かす〉>音楽	
	備 考	＜キーワード＞乳幼児、音楽あそび、音楽遊びの方法、演奏方法	

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

13	テーマ	(教材研究シリーズ) 幼児期に自然環境に触れることの重要性	60分 再配信 R3.8.2～9.7 R3.12 大研
	講師	出原 大 氏 (むぎの穂保育園 園長)	
	内 容	現場ですぐに使えるようなノウハウを学ぶ「教材研究シリーズ(自然遊び)」で、幼児期における自然教育の重要性を学びます。この研修動画は、保育中での自然遊びの具体的な事例をみながら、幼児期の自然遊びが子どもにとってどのような意味があるのか、どのように実践するが良いかを学ぶことを目的としています。	
	俯瞰図番号	B3：子どもと共に育つ保育者＞遊びの専門性＞〈アウトドア体験〉＞自然遊び	
	備 考	＜キーワード＞自然あそび、自然遊びの方法	
14	テーマ	(教材研究シリーズ) 造形遊び「描画活動をアップデートしよう」	90分
	講師	今川 公平 氏 (木の実幼稚園 園長)	
	内 容	AIが革命的に進化し、人に代わって絵を描いてしまう時代に子どもたちは育っています。今、子ども達にとって「もの」を使って「絵を描く」という行為、遊びはどのような意味があるのでしょうか。幼児教育に関わる私たちは積極的にこの問いに応えなければなりません。従来型のテーマ中心、写生画中心、作品作り中心の活動は、子どもの視点から大いに見直し、新しい取り組みが今、必要です。描画活動を「ものとの遊び＝造形遊び」の観点から捉えなおし、「形」や「色」で遊びながら、自然と絵画的な表現が生まれる保育を作り出していく、そのプロセスや手立てを具体的に解説し、共に考え行きたいと思います。	
	俯瞰図番号	B3：子どもと共に育つ保育者＞遊びの専門性＞〈自分の得意分野を持ち、保育に生かす〉＞造形	
	備 考	＜キーワード＞造形、描画活動、自然な表現、造形プロセス	
15	テーマ	(教材研究シリーズ) 0・1・2歳児の遊びと表現 ～素材と向きあう～	90分
	講師	和泉 誠 氏 (株式会社なーと 代表)	
	内 容	0・1・2歳児の表現のほとんどは作ることを目的としていません。それはコミュニケーション手段のひとつであったり、また、素材と、自分と、他者と、世界と向きあう中で生まれてくるものであったり。生活も、遊びも、学びも全てつながっています。表現することは特別なことではなく日常の中にあります。表現するということ。誰かに伝えたいと思うこと。誰かを理解したいと思うことを立ち止まって考えてみると、0・1・2歳児と過ごす時間の中にはとても豊かな表現が溢れています。	
	俯瞰図番号	B3：子どもと共に育つ保育者＞遊びの専門性＞〈自分の得意分野を持ち、保育に生かす〉＞造形	
	備 考	＜キーワード＞0・1・2歳児、表現、素材、こども理解	
16	テーマ	(教材研究シリーズ) うたって楽しむ私の絵本	90分
	講師	さいとうしのぶ 氏 (絵本作家)	
	内 容	保育現場で絵本はよく使用される教材である。絵本作家のさいとうしのぶ先生が、どのように絵本・紙芝居・ペープサート等を提供するのかを、ご自身の作品を読み聞かせ実践を見ながら、聞きながら理解できる。	
	俯瞰図番号	B3：子どもと共に育つ保育者＞遊びの専門性＞〈自分の得意分野を持ち、保育に生かす〉＞それ以外の分野	
	備 考	＜キーワード＞絵本、紙芝居、ペープサート	

＊配信予定の記載がない限りR5.2.22～R5.5.19の録画配信となります。

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

17	テーマ	(教材研究シリーズ) 3歳児クラスの絵の具画の進め方	60分 再配信 R3.8.2～9.7 R3.12 大研
	講師	永淵 泰一郎 氏 (畿央大学 教育学部 現代教育学科 准教授)	
	内容	現場ですぐに使えるようなノウハウを学ぶ「教材研究シリーズ(3歳児クラスの絵の具画の進め方)」で、幼児期(特に3歳児)の子どもに適した絵の具画について学びます。実際に絵画活動をしている年少児を見ながら、絵画活動の環境構成や展開方法を理解するだけでなく、幼稚園教育要領に即した絵画活動とはどのようにあるべきかを学ぶことを目的としています。	
	俯瞰図番号	B3: 子どもと共に育つ保育者>遊びの専門性>〈自分の得意分野を持ち、保育に生かす〉>絵画	
	備考	<キーワード>造形、絵画、絵具の使い方、描画の実践方法、環境構成	

18	テーマ	(教材研究シリーズ) 4歳児クラスの粘土遊び	60分
	講師	永淵 泰一郎 氏 (畿央大学 教育学部 現代教育学科 准教授)	
	内容	現場ですぐに使えるようなノウハウを学ぶ教材研究シリーズ。幼児期の子どもに適した粘土遊びについて学びます。実際に粘土遊びをしている年中児を見ながら、粘土遊びの導入や環境構成、展開方法を理解するだけでなく、幼稚園教育要領に即した粘土遊びとはどのようなものなのかを学び、子どもに寄り添う保育の理解を目的としています。	
	俯瞰図番号	B3: 子どもと共に育つ保育者>遊びの専門性>〈自分の得意分野を持ち、保育に生かす〉>造形	
	備考	<キーワード>造形、粘土、粘土遊びの進め方、環境構成、子ども理解	

19	テーマ	(OPARKシリーズ) 大私幼のOPARK 実行委員会の取り組みについて	120分 通年配信中 (本大会より開始)
	講師	平林 祥 氏 (ひかり幼稚園 主事) 岡部 祐輝 氏 (高槻双葉幼稚園 教頭) 瀧川 光治 氏 (大阪総合保育大学 児童保育学科 教授)	
	内容	一般社団法人大阪府私立幼稚園連盟では、2016年からリーダーシップとマネージメントに焦点を合わせて継続的な保育の質の維持と向上を目指すシステムOPARK (Open! Pre-school Accreditation Framework オパーク)を開発してきました。OPARK実行委員会は大私幼理事長の直轄事業として設置され、現在は理事長と教育研究委員会・経営研究委員会(前経営管理委員会)の正副委員長、外部研究者等に設置者園長後継者の有志を加え、総勢30名超で活動しています。本講座では、1. これまでの取り組み 2. OPARK 実行委員会での取り組みを経た個別園の具体的な改善の事例の紹介 3. OPARK の取り組みを具体的な研修の企画につなげた事例を紹介するとともに、大阪総合保育大学の瀧川光治先生からOPARKに対していただいた問いに応える形でOPARKに関する説明をいたします。	
	俯瞰図番号	B4 (マネジメント): 子どもと共に育つ保育者>社会人としての役割>社会人としての自覚>〈社会人としての姿〉>組織の活性化を図る	
	備考	<キーワード>保育の質、リーダーシップ、マネジメント、園の組織の見直しと活性化、学校評価	

＊配信予定の記載がない限りR5.2.22～R5.5.19の録画配信となります。

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

20	テーマ	(OPARKシリーズ) 現職保育者を育成する体制や方法の充実	60分 再配信 R4.7 近研
	講 師	平林 祥 氏 (ひかり幼稚園 主事) 幼保連携型認定こども園 はまようちえん 社会福祉法人 種の会	
	内 容	大私幼では、設置者や園長など法人/園のトップリーダーの幼児教育と経営におけるリーダーシップとマネジメントの具体的な取り組みに焦点を合わせて、幼稚園等の質の向上を目指すOPARK (オパーク) という事業に2016 年から取り組んできました(講座19 番)。本研修は、OPARK の取り組みに関連して企画・作成されました。講座23 番の若手保育者〈育成者〉研修会では、若手保育者の育成の体制や方法に関して優れた実践をされている二園に事例を提供いただきました。 本研修では、育成の対象を「若手保育者」に限定せず、教職員全体に関わる育成の体制や方法 あるいは 働き方に関して、先進的な取り組みをされている兵庫県の「はまようちえん」 および「社会福祉法人 種の会」に事例を提供いただきました。私立幼稚園等は一つひとつの園にそれぞれの歴史や伝統、文化、文脈があり、全ての園が一つのモデルを真似ることは無理があります。そのため、本研修を受講されて、事例提供の園の取り組みをそのまま真似ていただく必要はないと考えています。それぞれの受講者が「自園にとっての」より良い現職保育者の育成の体制や方法を探るきっかけになれば良いと考えております。	
	俯瞰図番号	B4 (マネジメント) : 子どもと共に育つ保育者>社会人としての役割>社会人としての自覚>〈社会人としての姿〉組織の活性化を図る、仕事の目的・目標を明確化する、仕事の効率化を図る	
	備 考	<キーワード>現職保育者の育成体制、キャリアパス、働き方、業務や資源の整理、職場における同僚性	
21	テーマ	実習ガイドライン解説	30分 通年配信中 R3.2 園長研 R3.3 大研 R3.12 大研
	講 師	北島 孝通 氏 (庄内こどもの杜幼稚園 園長)	
	内 容	毎年各園で実習生を受け入れられていると思いますが、将来保育現場で働く人を育てることに園として貢献するとともに、実習生を育てることを通じて自園の保育者が自分の保育を振り返り、「他人に保育を伝える」ことも学びになっています。しかし、各園が実習の基準がなく、手探りで行なっている現状が散見されます。その現状の一助となるべく、一般社団法人大阪府私立幼稚園連盟として「実習ガイドライン」を作成し、より園や学生の互恵性がある実習に寄与できるように改定しています。是非「実習ガイドライン」の趣旨をご理解いただき、大阪府の私立幼稚園で保育をしたいと思う人が一人でも多く現れることを願っています。	
	俯瞰図番号	B6 (マネジメント) : 子どもと共に育つ保育者>職場における同僚性>同僚性を磨く>指導、助言が相手の立場に立てできる >実習指導	
	備 考	<キーワード>実習、実習日誌、実習ガイドライン	
22	テーマ	(ECEQ®シリーズ) ECEQ®コーディネーター インタビュー	30分 通年配信中 (本大会より開始)
	講 師	平林 祥 氏 (ひかり幼稚園 主事) 背尾 康裕 氏 (念法幼稚園 副園長)	
	内 容	教育部分の第三者評価を私立幼稚園として独立して実施・運用するために、(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構は学校評価実施支援のためにECEQ®イーセック、公開保育を活用した幼児教育の質向上システムを開発し、ECEQ®コーディネーターの育成とECEQ®の実施を進めてきました。ECEQ®が本格的に稼働した現在、大私幼ではECEQ®の実施を推奨しています。ECEQ®に関する説明は、講座49番でしております。 本研修では、ECEQ®の実施運営をサポートするECEQ®コーディネーターへのインタビューをご視聴いただけます。ECEQ®コーディネーターとして活動する経験が本人の成長や勤務園での働きにどのように影響するかを語ってもらい、たんにECEQ®を実施するだけでなく、園でリーダーシップを発揮する人材にECEQ®コーディネーターとして活動してもらうことが勤務園も益する可能性についてお伝えできればと考えています。	
	俯瞰図番号	B6 (マネジメント) : 職場における同僚性>同僚性を磨く>〈人間関係力〉>ワークショップを運営する	
	備 考	<キーワード>ECEQ®, 公開保育、保育の質、学校評価、園内での話し合い、ふりかえりと改善	

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

23	テーマ	(OPARKシリーズ) 若手保育者〈育成者〉研修	60分 再配信 R3.12 大研
	講 師	平林 祥 氏 (ひかり幼稚園 主事) 日吉幼稚園 せんりひじり幼稚園・ひじりにじいる保育園	
	内 容	本講座は、2021年8月25日(水)に開催した「若手保育者〈育成者〉研修会」の内容を整理して動画にまとめ、配信するものです。幼稚園や認定こども園等では、人を育てる営為が日々積み重ねられていますが、そこで働く幼稚園教諭・保育教諭等の育成に関しては、十分な体系化や研究が進められていない現状があります。本研修では、OPARK(講座19番)の現地調査でサブスケール3「スタッフ管理」>項目3.1 新任者と配置>3.1.A新任保育者研修の調査をした際に、優れた育成の体制や方法を実践している園として評価された日吉幼稚園およびせんりひじり幼稚園にそれぞれの園での事例を提供いただきました。大私幼加盟各園の若手保育者の育成者が、それぞれの園の文化や実情に応じた適当な育成の体制や方法を検討する一助になればと願っています。	
	俯瞰図番号	B6 (マネジメント): 子どもと共に育つ保育者>職場における同僚性>同僚性を磨く>指導、助言が相手の立場に立ってできる、育成者の役割を担う	
	備 考	<キーワード>育成者、若手保育者、メンタリング、援助と指導・助言、職場における同僚性	
24	テーマ	(子どもの発達シリーズ) 乳幼児の数量能力の発達	90分
	講 師	浅川 淳司 氏 (愛媛大学 教育学部 幼児教育教室 准教授)	
	内 容	日本を含む東アジアの子どもたちは、西洋の国々の子どもたちよりも数量に関わるパフォーマンスが良いことが知られています。しかし、乳幼児期の数量能力がどのように発達するのかについては、保育現場でもあまり知られていないのではないのでしょうか。乳児は2つの数量に関わるシステムを持って生まれてきます。そして、幼児期には、これら2つのシステムを土台にしてカウンティングと量の概念が発達していき、児童期前半には心的数直線が形成されるようになります。本講座では、乳児から児童期前半までの間でどのように数量能力が発達していくのか、その発達に保育はどのように関わってくるのかお話できればと思っています。	
	俯瞰図番号	C2: 教育・保育理論>保育を支える発達の理論を知る>発達理論>発達の基礎理論>認知機能の育ち	
	備 考	<キーワード>数量能力、認知機能、乳幼児、発達理論	
25	テーマ	(子どもの発達シリーズ) 乳幼児の嗅覚の発達	60分
	講 師	稲田 祐奈 氏 (富山大学 和漢医薬学総合研究所 神経機能学領域 助教)	
	内 容	人間の感覚の中で、嗅覚は発達の早期から機能する感覚の一つである。視力の弱い乳児期には、子どもにとって嗅覚が母親を同定する重要な感覚であると言える。幼児期には食物の好き嫌いを左右する一つの要因となる。また、幼児期や小児期など発達の早い段階でコミュニケーションや行動面で困難が見られる自閉スペクトラム症(以下、ASD)では、感覚の敏感さや鈍感さが見られるが、嗅覚も例外ではなく、ASD児では健常児に比べて嗅覚力に関して健常児との差異が生じることが示されている。本研修では、子どもの嗅覚の発達と嗅覚力を知ることの重要性について概説する。	
	俯瞰図番号	C2: 教育・保育理論>保育を支える発達の理論を知る>発達理論>発達の基礎理論>乳児期から児童期の育ち	
	備 考	<キーワード>発達理解、乳幼児、知覚の発達、嗅覚、自閉スペクトラム症	

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

26	テーマ	(子どもの発達シリーズ) 乳幼児期におけるアタッチメントと非認知的な心の発達	90分 再配信 R3.12 大研
	講 師	遠藤 利彦 氏 (東京大学大学院 教育学研究科 教授)	
	内 容	現在、世界各地で展開される長期縦断研究を通して、乳幼児期に子どもが経験するアタッチメントの質が、人の一生に亘る心と身体の健康や幸福の実現において、とても重要な意味を有していることが明らかになってきています。とりわけ、それがいわゆる非認知と呼ばれる大切な心の力の発達に欠かせない役割を果たすということに注目が集まっています。今回の動画研修では、その非認知と呼ばれる心の力とは具体的にどのようなものを指すのか、そしてアタッチメントがどのような意味で、その力の発達を支え促すことになるのかについて、皆さんと一緒に考えたいと思います。	
	俯瞰図番号	C2：教育・保育理論＞保育を支える発達の理論を知る＞発達理論＞発達に即した保育＞自我の発達と家族関係の心理－愛着の形成とホスピタリズム	
	備 考	＜キーワード＞ 発達、愛着形成、保育者の役割	

27	テーマ	(子どもの発達シリーズ) 発達理解の視点と子どもの発達の時代による変化	60分
	講 師	大谷 多加志 氏 (京都光華女子大学大学院 心理学研究科 臨床心理学専攻 准教授)	
	内 容	近年、子どもたちの発達の様相が変わってきているという声が、幼児教育や保育の現場からあがっています。具体的には、「体力が落ちている」、「手先が不器用になっている」、「我慢がきかない」、「集団活動に入りにくい」、などです。子どもたちの発達にどのような変化が生じているのでしょうか。そして、大人は子どもたちの育ちとどのように向き合っていく必要があるのでしょうか。この講義では、子どもの発達の時代による変化について解説するとともに、どのような時代にあっても、子どもの育ちに寄り添い、成長を支えていくために必要な「発達理解の視点」について具体例を交えながらお話しします。	
	俯瞰図番号	C2：教育・保育理論＞保育を支える発達の理論を知る＞発達理論＞発達に即した保育＞子どもの姿と発達理論上の相違の理解	
	備 考	＜キーワード＞発達理解、発達理論、K式発達検査、時代による発達の変化	

28	テーマ	(子どもの発達シリーズ) 知覚の発達	90分
	講 師	加藤 正晴 氏 (同志社大学 赤ちゃん学センター 准教授)	
	内 容	私たち人間はいわゆる五感と呼ばれる感覚情報を用いて外の様子を常に観察しています。その中でも、見る聞くの2種類の感覚は少し特殊で、私たちの体から離れたところにある物についての情報を提供してくれます。特に視覚によって伝わる情報は非常に多く、他のどの感覚情報に関わる脳部位より視覚に関わる脳部位は大きいのです。この広い脳部位が生まれた後のさまざまな経験を得ることで変化し、私たちのものの見え方は赤ちゃんから大人へと変化していきます。本講義ではその視覚の発達を、目の構造、盲点、無意識の処理、経験によって変わる見え方、奥行きの知覚、顔の知覚、視線、言葉の学習と視覚、発達障害などのキーワードから解説します。	
	俯瞰図番号	C2：教育・保育理論＞保育を支える発達の理論を知る＞発達理論＞発達の基礎理論＞乳児期から児童期の育ち	
	備 考	＜キーワード＞視覚の発達、目の構造、盲点、無意識の処理、経験によって変わる見え方、奥行きの知覚、顔の知覚、視線、言葉の学習と視覚、発達障害	

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

29	テーマ	(保育環境シリーズ) 乳幼児のための音環境	90分 再配信分 R3.12 大研
	講 師	嶋田 容子 氏 (同志社大学 赤ちゃん学研究センター 特任研究員)	
	内 容	保育における「環境」という言葉から様々なことを想起されると思いますが、この研修では「音環境」について考えたいと思います。本研修では、子どもの「聞こえ」に関する発達、音環境と子どもの行動の関連、音環境への意識を持った環境構成や保育者のかかわりについてなど、音環境にかかわる様々な観点でお話をさせていただきます。	
	俯瞰図番号	C2：教育・保育理論＞保育を支える発達の理論を知る＞発達の基礎理論	
	備 考	＜キーワード＞音環境、子どもの聞こえに関する発達、環境構成、保育者の援助	
30	テーマ	(子どもの発達シリーズ) 幼児期にふさわしい読み書きの学び	60分
	講 師	横山 真貴子 氏 (奈良教育大学 教育学部 学校教育講座 教授)	
	内 容	この研修動画では、子どもの文字学習の特徴や過程を理解して、具体的な環境構成や関わりに反映させていくことが大事であることを横山先生にご説明いただきます。保育環境としては、多くの文字があり、それを使っている大人の姿を見せることで、読み書きに対して価値を感じてもらうこと。保育者の関わりとしては、文字が読み書きできることをほめて文字の習得を奨励するだけでなく、「文字に親しむ姿勢」が育まれることを喜ぶ、「文字以前の線描などの書く行為を楽しむ姿」を喜ぶ、「見よう見まねで文字らしい形を書くようになる姿」を励ますなどし、文字の造形の正誤や鏡文字の指摘など、文字を読んだり書いたりして親しむ意欲を萎ませないようにすること。読み書きの修得を支える認知的基盤としての音韻意識を促す遊び（ジャンケンやしりとり）を生活のなかで自然に行い、遊びへの参加を通じて音韻意識の習得を促すこと。そういったことの総体として、読み書き機能につながるような内面を育むための、体験に根ざした言葉が豊かに育つような保育が、幼児期にふさわしい文字教育であるとお話くださっています。	
	俯瞰図番号	C2：教育・保育理論＞保育を支える発達の理論を知る＞発達理論＞発達の基礎理論＞認知機能の育ち	
	備 考	＜キーワード＞認知機能、読み書き能力、体験に根ざした豊かな言葉、音韻意識、文字に親しむ	
31	テーマ	(子どもの発達シリーズ) 子どもの主体性を育む保育の役割	90分 再配信分 R3.12 大研
	講 師	川田 学 氏 (北海道大学 教育学研究院 乳幼児発達論研究室 准教授)	
	内 容	子どもの主体性を尊重した保育の重要性が言われていますが、そもそも「主体性」をどのようにとらえたら良いのでしょうか。子どもの自由にさせることでしょうか、子どもの自己決定を重視することでしょうか。では、子どもはどう決定しているのでしょうか。本講演では、子どもの主体性の考え方を整理した上で、保育者の役割について考えていきます。近年、幼稚園でも3歳未満児の保育も重要になってきたことをふまえ、3歳未満児の主体性を育む視点についても取り上げます。	
	俯瞰図番号	C2：教育・保育理論＞保育を支える発達の理論を知る＞発達理論＞〈発達の基礎理論〉＞乳児期から児童期の育ち	
	備 考	＜キーワード＞主体性、自己決定、保育者の役割、関係性、3歳未満児の保育	

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

32	テーマ	(子どもの発達シリーズ) 就学前教育の効果について	60分
	講 師	大竹 文雄 氏 (大阪大学 感染症総合教育研究拠点 科学情報・公共政策部門 行動経済学ユニット 特任教授)	
	内 容	大竹文雄先生は、大阪大学でのお仕事のほかに、尼崎市学びと育ち研究所で所長として各種政策と子どものアウトプットとの関連を調査研究しておられます。大竹先生のご専門の行動経済学では、人間の性質/特性に応じた仕組みや環境を用意することでより良い行動を促すという考え方があり、それは(物的・人的・その他の)環境を通じた教育を基本とする幼児教育・保育の考え方と親和性が高いと考えております。今回は、尼崎市の取り組みに加えて、講堂経済学の研究についても触れていただく予定です。	
	俯瞰図番号	C3 (マネジメント) : 教育・保育理論>日本の保育制度を知る>制度の理解>〈教育・保育制度〉>現代的課題と保育者・保育団体の役割	
	備 考	<キーワード>教育経済学、発達に寄与する外的要素、縦断研究、発達アウトカム、評価	
33	テーマ	保育者・園長が主体的に学び続けるための研修・研究・評価への取り組みについて	60分 再配信 R3.12 大研
	講 師	発 表 者：杉本 圭隆 氏 (むつみこども園) 北島 孝通 氏 (庄内こどもの杜幼稚園) 平林 祥 氏 (ひかり幼稚園) 岡部 祐輝 氏 (高槻双葉幼稚園) 共同研究者：安達 譲 氏 (大阪教育大学)	
	内 容	新型コロナウイルス感染拡大により、流行以前と同じ形での園外での研修・研究・評価実施が難しくなっています。そのような時代にあっても、また、そのような時代だからこそ保育者・園長が個人として、チームとして主体的に学び続けることが大切です。大阪府の連盟として研修・研究・評価計画の再編や、オンラインを含めた実施方法の見直し、新しい形の評価制度導入やその運用などについて取り組んできた過程を発表します。	
	俯瞰図番号	C3 (マネジメント) : 教育・保育理論>日本の保育制度を知る>制度の理解>〈教育・保育制度〉>現代的課題と保育者・保育団体の役割	
	備 考	<こんな人におすすめ>幼保団体の教育研究委員だけでなく、園内で学びをマネジメントできる立場にある園長・主任等 <キーワード>研修企画、学びのマネジメント、研修・研究・評価システム	
34	テーマ	(保育の可視化シリーズ) 保育の記録・可視化・発信の重要性 ～ポイントと実際の事例を通して～ (設置者・園長向け)	90分 再配信 R3.2 園長研 R3.12 大研
	講 師	松井 剛太 氏 (香川大学 教育学部 学校教育教員養成課程 准教授)	
	内 容	本講座の前半部では、幼児教育の見えにくい育ちをいかに保育者が捉え、可視化し発信していくことが大切かということ、事例を交えてお話いただきます。動画の中で紹介される事例を通して、子どものどのような姿をとらえるのか。とらえた姿をどのような視点を踏まえて、記録し発信していくのか。そして、発信したものを子どもや保護者、そして保育者同士でいかに活用していくことが大切のかなど、記録・可視化・発信の一連のプロセスの中で保育者が考えていきたい視点を踏まえ、お話をいただきます。また本講座の後半部では、「設置者・園長向け」の内容として、「保育の記録・可視化・発信」を園として行う必要性や、園としての体制・環境づくりについてもお話をいただきます。	
	俯瞰図番号	D2 (マネジメント) : 子ども理解>子どもの育ちと記録のとり方 (育ちの記録)>様々な記録>保護者との育ちの共有	
	備 考	<キーワード>記録、可視化、発信、子ども理解、記録・可視化・発信を行う組織体制	

※配信予定の記載がない限りR5.2.22～R5.5.19の録画配信となります。

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

35	テーマ	(保育の可視化シリーズ) 保育の記録・可視化・発信の重要性 ～ポイントと実際の事例を通して～ (保育者向け)	90分 再配信 R3.3 大研 R3.12 大研
	講 師	松井 剛太 氏 (香川大学 教育学部 学校教育教員養成課程 准教授)	
	内 容	本研修の前半部では、幼児教育の見えにくい育ちをいかに保育者が捉え、可視化し発信していくことが大切かということ、事例を交えてお話いただきます。動画の中で紹介される事例を通して、子どものどのような姿をとらえるのか。とらえた姿をどのような視点を踏まえて、記録し発信していくのか。そして、発信したものを子どもや保護者、そして保育者同士でいかに活用していくことが大切のかなど、記録・可視化・発信の一連のプロセスの中で保育者が考えていきたい視点を踏まえ、お話をいただきます。また本研修の後半部では、「保育者向け」の内容として、前半の内容を踏まえ、子どもの声を聴き、子どもの関心をつないでいく為に、保育者にとって必要な事や、記録を行う具体的な手立てや事例などをお話させていただきます。(前半部は、設置者・園長向け/保育者向けとともに同じ内容となります。)	
	俯瞰図番号	D2: 子ども理解>子どもの育ちと記録のとり方(育ちの記録)>様々な記録>保護者との育ちの共有	
	備 考	<キーワード>記録、可視化、発信、子ども理解	
36	テーマ	(保育の可視化シリーズ) 第29次プロジェクト 子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討 ～子どもや保護者と共有するための可視化や発信～	90分 再配信 R3.12 大研
	講 師	助言者: 松井 剛太 氏 (香川大学 教育学部 学校教育教員養成課程 准教授) 発表者: 第29次プロジェクトメンバー 司 会: 岡部 祐輝 氏 (大阪府私立幼稚園連盟教育研究所 所長)	
	内 容	第29次プロジェクトでは開始以来、「記録」、「可視化」、「発信」という軸と、「子どもと記録を生かす」、「保護者に伝える」、「保育者と共有」ということを、実践研究の観点として、各園での事例を収集し、複数グループに分かれ討議してきました。今回の発表では、各グループが前述の観点の中で特に課題意識や、明らかにしたいと考えたことをもとに、各グループのこれまでの歩みと、明らかになったことを発表したいと思います。「記録に関心があったり、実際に今取り組んだりしているが、なかなか取り組みがうまく進まない」、「どのように記録、可視化、発信を考えていけばいいのだろう」ということなどに関心がある方は、ぜひ本発表をお聞きください。	
	俯瞰図番号	D2: 子ども理解>子どもの育ちと記録のとり方(育ちの記録)>様々な記録>保護者との育ちの共有	
	備 考	<キーワード>記録、可視化、発信、子ども理解、保育者同士の共有	
37	テーマ	(特別支援シリーズ) 子ども理解と関わり方の視点	90分 再配信 R3.10～11 R3.12 大研
	講 師	伊丹 昌一 氏 (梅花女子大学 大学院 教授)	
	内 容	特別を要する子どもに対する基本的理解とその対応を学びます。気になる行動をする支援を要する子ども・様々な発達症(ASD・ADHD・LD)についての特徴を理解し、その具体的な支援を学びます。また、愛着障がいについての行動特徴の理解を深め、関わり方を学びます。	
	俯瞰図番号	D3: 子ども理解>特別支援教育>特別支援教育の理解>特別支援教育の実践基礎	
	備 考	<キーワード>特別支援、気になる行動、発達症、愛着障がい、支援方法	

※配信予定の記載がない限りR5.2.22～R5.5.19の録画配信となります。

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

38	テーマ	(特別支援シリーズ) 障がいのある子どもやその可能性がある子どもの保護者支援	120分
	講 師	木曾 陽子 氏 (大阪公立大学 大学院 准教授)	
	内 容	本動画では、障がい児保育の現状をおさえたうえで、インクルージョンや合理的配慮、ユニバーサルデザインといった概念を説明し、これからの障がい児保育における課題を整理する。次に、障がいのある子どもの保護者の「障がい受容」にまつわる考えを紹介する。ここでは、特に発達障がいの可能性がある子どもの保護者へのかかわりに焦点づけ、保護者が我が子の発達障がいの可能性にどのように気づいていくのか、具体的な保育者のかかわりを例に挙げながら、保護者の側から捉えた心情変化のプロセスについて解説する。最後に、これらを踏まえ、障がい児や障がいの可能性がある子どもの保護者支援のポイントについて説明する。	
	俯瞰図番号	D3：特別支援教育＞特別支援教育の理解＞特別支援とインクルーシブ教育/園内の連携、家庭との連携（家庭支援）	
	備 考	＜こんな人におすすめ＞ 特別支援や個別の支援に際して、保護者へどう伝えるか、共有するかということに難しさや課題意識を感じられている方 ＜キーワード＞障がい児保育（≒特別支援教育）、インクルーシブ教育、UD、保護者の障がい受容プロセス、保護者支援、カウンセリングマインド	
39	テーマ	(特別支援シリーズ) 幼児教育・保育における合理的配慮	60分
	講 師	熊谷 さくら 氏 (学校法人リズム学園 特別支援専門士)	
	内 容	障害者基本法の改正（2012.7）で「社会的障壁」について言及され、「社会モデル」の考え方が追加されたことにより、第4条第2項に「合理的配慮」の提供の規定が加えられました。ただ、障害者基本法をはじめとする法令において「合理的配慮」が叫ばれる中、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領には「合理的配慮」に関する言及はありません。この研修動画では、熊谷先生が勤務される学校法人の一つの施設において、現場保育者は「合理的配慮」をどのように捉えているのかを支援内容に着目して整理することで、保育者が何を「合理的配慮」として捉えているのかを検討し、個別支援計画の一層の充実と活用の一助となる考察を提案していただきます。	
	俯瞰図番号	D3（マネジメント）：子ども理解＞特別支援教育＞特別支援教育の保育実践＞個別の指導計画	
	備 考	＜キーワード＞特別支援教育、特別支援、個別指導計画、合理的配慮、インクルーシブ教育	
40	テーマ	(特別支援シリーズ) 特別支援コーディネーターの役割	60分
	講 師	鶴 宏史 氏 (武庫川女子大学 教育学部 教育学科 教授)	
	内 容	特別支援の必要な子どもや、その子どもを受け持つ保育者を支える特別支援教育コーディネーターの役割や求められるスキルについて、事例を交えながら解説します。	
	俯瞰図番号	D3（マネジメント）：子ども理解＞特別支援教育＞特別支援教育の保育実践＞園内の連携、家庭との連携（家庭支援）	
	備 考	＜こんな人におすすめ＞ 特別支援コーディネーターのように、担任、保護者、外部機関等とつながる方 ＜キーワード＞特別支援教育、保護者対応、外部連携	

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

41	テーマ	(教材研究シリーズ) 運動あそび	30分 再配信 R3.3 大研 R3.12 大研
	講 師	片山 喜章 氏 (社会福祉法人種の会 会長)	
	内 容	豊富な運動量を確保し、子ども同士の関わり合いがたくさん起こるような運動あそびを動画で紹介し、解説します。 動画1 Part 1 2 人列車、2 人組でフープ列車、うまうまじゃんけん、ひげじいさんおに、飛び出しイス取り。 Part 2 きらきらじゃんけん、マットからイスへ、おちたおちた、じゃんけん宝取り。 動画2 Part 1 フープひっこし、アルプスいるいる、対面レスキュー、どんじゃん。 Part2 あいこでドカーン、ゴロゴロマット、3 人でボール1 つを…	
	俯瞰図番号	E2：保育実践＞実践の基礎となる知識など＞実践のための知識＞〈遊びの知識と理解〉＞遊びの意味と育ちへのつながりの解説と共有	
	備 考	＜キーワード＞運動あそび、子ども同士の関わり、ルールを伝える/理解する、楽しく遊び、考えて遊ぶ	
42	テーマ	(教材研究シリーズ) 集団運動あそび	30分
	講 師	片山 喜章 氏 (社会福祉法人種の会 会長)	
	内 容	保育全般において「子どもどうしのかかわり合い」は大切な視点です。クラスの子ども全体がルールを共有し全身をしっかりと動かしながらふれ合う活動は学級経営の点においても意義深いと思われます。一方で魅力のある面白い活動でなければすぐに“失速”してしまいます。今回、ご紹介する動画は、シンプルで且つわくわくするモノだと思います。どの年齢においても実践しやすいように、概ね3、4歳児向けと4、5歳児向けに大別しています。本動画を子どもたちとともに数回、視聴することをお薦めします。子どもたちはただ視聴するだけで、保育者が逐一丁寧に説明しなくてもルールを理解し笑顔で活動する姿が目に見えます。	
	俯瞰図番号	E2：保育実践＞実践の基礎となる知識など＞実践のための知識＞〈遊びの知識と理解〉＞遊びの意味と育ちへのつながりの解説と共有	
	備 考	＜キーワード＞運動あそび、子ども同士の関わり、ルールを伝える・理解する、楽しく遊び、考えて遊ぶ	
43	テーマ	(教材研究シリーズ) 科学あそび ～気づき、発見、試行錯誤、工夫が生まれる保育のために～	90分 再配信 R3.12 第64回大研
	講 師	瀧川 光治 氏 (大阪総合保育大学 児童保育学科 教授)	
	内 容	「手軽にできる科学あそび」と「試行錯誤や工夫が生まれる科学あそび」をテーマに、入手が容易な様々な教材と素材を用いた遊びを紹介していただきます。動画を視聴しながら、参加者にも実際に職場や家でその科学あそびを試してもらい、どういうトキメキ（面白い！不思議！？）やヒラメキ（こうやってみたら？）を感じるかを実感していただき、実際の保育に具体的に取り組む際のヒントになればと願っています。	
	俯瞰図番号	E2：保育実践＞実践の基礎となる知識など＞実践のための知識＞〈教材の知識と理解、作成〉＞教材の選択、作成、改良	
	備 考	＜キーワード＞トキメキ、ヒラメキ、科学あそび、教材研究、作って遊ぶ	

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

44	テーマ	(子ども理解シリーズ) 第30次プロジェクト 幼児理解から考えるカリキュラム・マネジメント	90分
	講 師	助言者：瀧川 光治 氏 (大阪総合保育大学 教授) 発表者：第30次プロジェクトメンバー 司 会：小池 聖子 氏 (大阪府私立幼稚園連盟教育研究所 副所長)	
	内 容	幼児教育では、子どもの姿や子どもの興味・関心を出発点とし、加えて保育者のねらいや願いを踏まえ、保育計画や保育活動に取り組むことが重要であると考えます。このプロセスの中で、とりわけ大切になってくることは「幼児理解」です。第30次プロジェクトでは、この幼児理解を出発点として、日々の保育や子どもの姿を振り返り、いかにカリキュラム（指導計画）反映していくかということを実践を出し合いながら検討してきました。今回の発表では、この考え方にに基づき、メンバー各園でどのように取り組みを進めてきたか。そしてその実践からどのような変容（成果や課題を含む）が見えてきたかということを、研究の中間発表的な位置づけで行います。	
	俯瞰図番号	E3（マネジメント）：指導計画から保育の立案へ＞計画の立案＞保育の理解と計画	
	備 考	＜こんな人におすすめ＞ 幼児理解をいかにやっていくか。それらを日々の保育実践や指導計画にいかに関わっていくかということをつなげて考えたいという方におすすめです。 ＜キーワード＞ 幼児理解、カリキュラム・マネジメント、PDCAサイクル、子どもの遊び理解、環境構成の工夫、保育者の援助の工夫	
45	テーマ	(保育環境シリーズ) 子どもの想いをつなぐ遊びの環境を考える	90分 再配信 R3.3 大研 R3.12 大研
	講 師	岡部 祐輝 氏 (高槻双葉幼稚園 教頭)	
	内 容	幼稚園教育要領解説で「幼稚園では、幼児の自発的な活動としての遊びを十分に確保することが何よりも必要である」という記述があるように、幼児教育の子どもが経験する遊びや生活の中に、学びや育ちがたくさんあります。そして、子どもたちが自ら「やってみたい」と進んで遊びや生活に向かうことが重要です。私たちは子どもたちが過ごす遊びや生活の環境を、子どもの興味・関心など子どもの姿をふまえ、保育者の考えるねらいやねがいを合わせ、考えていくことが大切です。本研修では、環境構成を行う前に、子どもの興味・関心など子どもの姿を保育者が捉えていく過程として大切だと考えること、そして環境構成の事例を通して、研修受講者の方々それぞれが、ご自身の保育実践とひきつながら学びを深めていけるよう研修を構成しています。	
	俯瞰図番号	E4：保育実践＞環境の構成＞環境構成の重要さの理解＞子どもとともに環境をつくり出す方策＞コーナー保育などの理解	
	備 考	＜キーワード＞ 環境構成、子どもの遊び、保育者のかかわり、主体的に生み出す子どもの姿	
46	テーマ	(保育環境シリーズ) 園庭づくり	120分
	講 師	小倉 寛庸 氏 (愛泉幼稚園 園長) 田中 康雄 氏 (光明幼稚園 園長) 中丸 創 氏 (かえで幼稚園 副園長) 丸谷 雄輔 氏 (札幌ゆたか幼稚園 園長)	
	内 容	幼稚園教育要領の 第1章 総則＞第1 幼稚園教育の基本 では、「幼稚園教育は、学校教育法に規定する目的及び目標を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。」と記されています。環境を通して行うことが基本である一方で、幼児教育・保育の養成課程や現職者研修等で「環境構成論」等が確立されているとはいえ、各園が独自に、あるいは研究者や大学教員の協力を得て試行錯誤しているのが実態ではないでしょうか。また、園庭の環境や遊具・教具に関しては予算が必要な事項が多く、設置者（理事長）や園長などのトップリーダーや管理職の理解を得なければ、現場の保育者だけの判断で大規模な再構成を行うことは難しいのではないのでしょうか。この研修動画では、全国各地の幼稚園での園庭の環境構成の実際とその背景にある教育的意図、その園庭環境で実際に遊ぶ子どもの姿などの事例を紹介し、みなさまの園での園庭づくりの一助になればと願っています。	
	俯瞰図番号	E4（マネジメント）：保育実践＞環境の構成＞環境の構成＞環境構成と再構成の重要さの理解	
	備 考	＜キーワード＞ 園庭、砂場、環境構成、教材研究	

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

47	テーマ	(子どもの発達シリーズ) 感情コントロールの力を育てる関わり (後編)	90分 R5.4.25まで 配信予定
	講 師	大河原 美以 氏 (大河原美以心理療法研究室 室長)	
	内 容	「感情コントロールの力はどのようにして育つか (前編)」の続編で、「感情コントロールの力はどのようにして育つか (前編)」の考え方に基づいて、保育園や小中学校での具体的な関わりを解説しました。本講座の前編は講座7番です。必ず先に「感情コントロールの力はどのようにして育つか (前編)」をご覧ください。	
	俯瞰図番号	E5 : 保育実践＞保育の実践＞指導、援助、見守り等の実践＞子どもに対して使う言葉の精査と非言語の表現の理解	
	備 考	＜キーワード＞感情コントロール、援助的な関わり、自律、しつけ、本当に必要な関わり	
48	テーマ	(子ども理解シリーズ) 乳幼児の発達を踏まえた保育計画 -実践を通して-	90分
	講 師	志水 里采子 氏 (幼保連携型認定こども園カナン保育園)	
	内 容	保育を行う上で、年間を通した育ちの流れに見通しを持つことは、必要な時期に必要な環境を用意したり、手立てを行ったりするために必要であると感じている。実際に0・1歳児クラスでの保育実践を通して、子どもの姿を『生活』『二項関係から三項関係／三項関係／言葉』『不思議・興味』『自我』『他者との関わり』『身体』の6つのカテゴリーに振り分け、月齢ごとや各時期に育ちを整理し、カテゴリーごとの関連性を見ることで育ちの指標をまとめた。加えて、それぞれの時期に必要な遊びや環境、関わりを整理し、乳幼児の育ちの流れや子どもの発達理解と保育計画について考察したい。	
	俯瞰図番号	E6 (マネジメント) : 保育実践＞観察と記録＞記録＞〈観察の視点〉観察の視点の適切な使い分け、〈記録の整理と活用〉記録の整理による共有と活用	
	備 考	＜キーワード＞子ども理解、保育記録、発達の理解、発達にふさわしい保育、保育計画の作成	
49	テーマ	(ECEQ®シリーズ) ECEQ®について	60分 通年配信中 (本大会より開始)
	講 師	平林 祥 氏 (ひかり幼稚園 主事)	
	内 容	全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 (以下、機構) が開発し実施してきたECEQ® (イーセック : 公開保育を活用した保育の質向上システム) の紹介動画に加えて、開発の経緯や学校評価における位置づけ、ECEQ®の5つのSTEPの説明、大私幼加盟園がECEQ®を実施する際の申請手続きや実施決定までの流れなどを動画を通して紹介します。ECEQ®を実際に実施した経験のある園の園長や主任、保育者のインタビューは講座50番で、ECEQコーディネータのインタビューは講座22番で、それぞれ配信しております。	
	俯瞰図番号	E7 (マネジメント) : 保育実践＞保育の振り返りと評価＞実践の評価＞評価の意義の理解＞自分の実践を客観的に振り返り、課題を発見する手段として	
	備 考	＜こんな人におすすめ＞今後ECEQ®の実施を控えている園、実施を検討している園、ECEQ®コーディネーター養成講座の受講を検討されている方など ＜キーワード＞ECEQ®、公開保育、保育の質、園内での話し合い、ふりかえりと改善	

* 配信予定の記載がない限りR5.2.22～R5.5.19の録画配信となります。

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

50	テーマ	(ECEQ®シリーズ) ECEQ®実施園インタビュー	120分 通年配信中 (本大会より開始)
	講 師	平林 祥 氏 (ひかり幼稚園 主事) 背尾 康裕 (念法幼稚園 副園長)	
	内 容	教育部分の第三者評価を私立幼稚園として独立して実施・運用するために、(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構は学校評価実施支援のためにECEQ®(イーセック、公開保育を活用した 幼児 教育の質向上システム)を開発し、ECEQ®コーディネーターの育成とECEQ®の実施を進めてきました。ECEQ®が本格的に稼働した現在、大私幼ではECEQ®の実施を推奨しています。 ECEQ®に関する説明は、講座49番でしております。 本研修では、ECEQ®を実施した園の園長や主幹教諭、保育教諭などのインタビューを通して、ECEQ®の実施について運営側とは別の側面からお伝えできればと考えています。	
	俯瞰図番号	E7 (マネジメント) : 保育実践>保育の振り返りと評価>実践の評価>評価の意義の理解>自分の実践を客観的に振り返り、課題を発見する手段として	
	備 考	<キーワード>ECEQ®, 公開保育、保育の質、学校評価、園内での話し合い、ふりかえりと改善	
51	テーマ	(学校評価シリーズ) 学校評価 (自己評価および学校関係者評価)	120分 通年配信中 R3.3.17～
	講 師	平林 祥 氏 (ひかり幼稚園 主事)	
	内 容	本講座は、一般社団法人大阪府私立幼稚園連盟が学校評価 (自己評価および学校関係者評価) の実施数/実施率の向上および実効的な実施の促進と支援にむけて作成した動画です。本講座では、以下の内容を扱います。 ・本動画の概要の説明 安達 譲 ・学校評価の充実に向けて～ECEQ®を利用しながら～ (ECEQ®を活用した学校評価) 平林 祥 ・ふりかえりから始める自己評価・学校関係者評価 (KPT法を中心に) 秦 賢志 ・施設関係者評価と公開保育 水谷 豊三 ・研修の総括 安達 譲	
	俯瞰図番号	E7 (マネジメント) : 保育実践>保育の振り返りと評価>実践の評価>評価の意義の理解、評価結果に基づく社会への発信、情報共有ができる同僚性の豊かな保育者集団の醸成、計画、実践に反映できる仕組みづくり	
	備 考	<キーワード>保育の質、学校評価、ECEQ®, ふりかえり、KPT法	
52	テーマ	(ECEQ®シリーズ) 保育の質と評価 ～ECEQ®の質的検証から見てきた ECEQ®の効果～	90分 再配信 R3.2 園長研 R3.3 大研 R3.12 大研
	講 師	淀川 裕美 氏 (千葉大学 教育学部 幼児教育教室 准教授)	
	内 容	本講座は、2020年11月19日(木)に開催された全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 (以下、機構) 主催の園長リーダー研修会の1コマを、主催者と演者の了承を得て再配信するものです。機構が開発し実施してきたECEQ® (イーセック: 公開保育を活用した保育の質向上システム) の効果の質的な検証を、2019-2020 年度に東京大学大学院教育学部附属発達保育実践政策学センター (CEDEP: セデップ) に委託しました。本講座では、1. ECEQ®の概要説明、2. 2019年度の調査結果から見てきたこと、3. 1と2を通して保育の「質」「評価」を再考する、という3つの内容について、CEDEP 特任准教授(*当時)の淀川裕美先生にご講義いただきます。2020年度の調査結果については、(講座 10番)でご紹介いただきます。	
	俯瞰図番号	E7 (マネジメント) : 保育実践>保育の振り返りと評価>実践の評価>評価の意義の理解>自分の実践を客観的に振り返り、課題を発見する手段として	
	備 考	<こんな人におすすめ>今後ECEQ®の実施を控えている園、実施を検討している園、ECEQ®コーディネーター養成講座の受講を検討されている方など <キーワード>保育の質、評価、ECEQ®, 園内での話し合い、ミドルリーダーの育成	

*配信予定の記載がない限りR5.2.22～R5.5.19の録画配信となります。

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

53	テーマ	(子育て支援シリーズ) カウンセリングマインド ～保護者相談の基本的ノウハウ～	90分 再配信 R3.10～11 R3.12 大研
	講 師	久司 万里子 氏 (公認心理師・臨床心理士)	
	内 容	保護者対応に必要な基本的知識であるカウンセリングマインドについて学びます。臨床心理士の立場から、保護者と対応する基本的ノウハウの一つ、カウンセリングマインドについての基礎知識と、それらの知識を実際に使った実践例を見ながら話し方や聞き方を学びます。	
	俯瞰図番号	F1: 子どもが育つ家庭や地域>保護者・地域との連携>連携の視点>(保護者との連携ができる)>カウンセリングマインドを活用した教育相談の理解	
	備 考	<キーワード>カウンセリングマインド、保護者の話を聴く、現場で聴くノウハウ、聴く際に役立つ対応	
54	テーマ	(子育て支援シリーズ) 赤ちゃんをかわいいと思えない時ー子育て困難のメカニズムー	90分 R5.4.25まで 配信予定
	講 師	大河原 美以 氏 (大河原美以心理療法研究室 室長)	
	内 容	子育てに苦しみを感じ、我が子をかわいいと思えなくなってしまう「子育て困難」のメカニズムを解説しました。一部、講座7番「感情コントロールの力はどうにして育つのか(前編)」と共通の内容が含まれています。	
	俯瞰図番号	F2: 子どもが育つ家庭や地域>子育ての支援>子育て家庭の支援>(特別なニーズを持つ家庭を知る)>不適切なかかわり・虐待への理解と早期発見、DVの理解、自分の育ち(被養育体験)を振り返る	
	備 考	<こんな人におすすめ> 子育て支援に携わる方 <キーワード>子育て困難、虐待防止、感情制御、愛着システム、成人の心の問題	
55	テーマ	(子育て支援シリーズ) カウンセリング概論	90分
	講 師	菅野 信夫 氏 (京都橘大学 健康科学部 心理学科 教授)	
	内 容	ここでは、保護者への対応や子どもの見とりの際に役立つカウンセリング的なアプローチについて、受講者のみなさんと一緒に考えて行きたいと思います。カール・ロジャーズが提唱したカウンセリングでは、「受容」「共感」「自己一致」の3つがカウンセリングの大切な要件として挙げられています。これは技法というよりは対応する側(保育者)の姿勢や態度について述べたものと考えられます。今回は具体的な場面を提示しながらこの3つの要件について考え、みなさんが少しでもカウンセリング的な態度を身につけ、保育現場での支援に繋がっていったらと思います。	
	俯瞰図番号	F2: 子どもが育つ家庭や地域>子育ての支援>子育て家庭の支援>(家庭を支援する必要性の理解)>子どもと家庭の変容	
	備 考	<こんな人におすすめ> 保護者対応に難しさを感じる方、子どもの関わりに悩みを持つ方 <キーワード>カウンセリングマインド、ロジャーズ、子どもの発達理解、子どもとの関わり	
56	テーマ	(子育て支援シリーズ) 虐待対応	90分 再配信 R3.10～11 R3.12 大研
	講 師	倉石 哲也 氏 (武庫川女子大学 文学部 心理・社会福祉学科 教授)	
	内 容	虐待が起こる背景とその本質を知り、それらが起こった場合の対応(子ども・保護者)を知ります。虐待が起こる社会背景を知りながら、それらの対応をどのように幼稚園として実践していくかを学びます。	
	俯瞰図番号	F2(マネジメント): 子どもが育つ家庭や地域>子育ての支援>子育て家庭の支援>(特別なニーズを持つ家庭を知る)>不適切なかかわり・虐待への理解と早期発見	
	備 考	<キーワード>虐待の可視化、虐待の現状、虐待の発生要因、リスクアセスメント、トラウマ	

＊配信予定の記載がない限りR5.2.22～R5.5.19の録画配信となります。

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

57	テーマ	(子育て支援シリーズ) 幼稚園等と家庭や地域のよりよい関係ー地域のみんなで子どもを育むためにー	90分
	講師	田辺 昌吾 氏 (四天王寺大学教育学部 教育学科 幼児教育保育コース 准教授)	
	内容	幼稚園等と家庭や地域のよりよい関係について、考え方や実践例を詳述する。少子化の進行する社会において、園が家庭や地域とどのような関係を築いていくかは、保育の質に大きな影響を与えると考えられる。子ども主体の保育においては、子どもの興味関心を園内だけに留めておくことには無理がある。「社会に開かれた教育課程」を実現するためには、子どもの興味関心を地域に開き、地域のさまざまな資源を保育に取り込むとともに、園を地域の資源として積極的に活用してもらう視点が重要となる。子どもの育ちを園や家庭に閉じるのではなく、地域のみんなで子どもを育むために、園が媒介となって地域に集う「ひと・もの・こと」をつなげていくことが、園の大きな役割となるだろう。	
	俯瞰図番号	F2 (マネジメント) :子どもが育つ過程や地域>子育て家庭>子育て家庭の支援	
	備考	<こんな人におすすめ> 保護者や地域に園を開く中でどのような考えのもと、行っていけばよいか悩んでいる、課題意識を持っている方 <キーワード> 保護者・地域とのつながり、園の役割、地域資源、社会に開かれた教育課程	
58	テーマ	(子育て支援シリーズ) 幼稚園等と子育て支援	90分 再配信 R3.12 大研
	講師	山縣 文治 氏 (関西大学 人間健康学部 人間健康学科 教授)	
	内容	幼稚園、認定こども園、保育所は、その存在そのものが、子どもの立場からみれば、自らの育ちを支援してくれる場です。これを保護者の立場からみれば、子育てを共に行う主体ということができます。これに加え、学校教育法や認定こども園法では、日常的には幼稚園等を利用していない親子への子育て支援の必要性も規定し、幼稚園教育要領等でこれをさらに具体的に記述しています。本講では、幼稚園等における子育て支援の制度的位置づけや具体的方法等について、その基本を学びます。	
	俯瞰図番号	F2 (マネジメント) :子どもが育つ家庭や地域>子育ての支援>子育て家庭の支援> (家庭を支援する必要性の理解) >子どもと家庭の変容	
	備考	<キーワード> 子育て支援、子育て支援の制度的位置づけ、子育て支援の方法	
59	テーマ	(子育て支援シリーズ) 保育ソーシャルワークのすすめ (基礎編)	90分 再配信 R2.2 R3.3 大研 R3.8~9 R3.12 大研
	講師	田邊 哲雄 氏 (兵庫大学 生涯福祉学部 こども福祉学科 教授)	
	内容	近年、虐待・貧困・外国にルーツのある子どもの対応など、園だけでは解決が難しい様々なケースに対応を悩まれることが多く見受けられるようになりました。そんな困難な事例に、どのように対応すればよいかを学ぶソーシャルワーク講座です。講座内容として、社会的支援が必要な子どもや大人に関する理解、その背景にある保護者や地域の子育て家庭への関わり、それとソーシャルワーカーの役割と実際の活動、園や地域との連携について理解できるような内容です。これからソーシャルワーカーと連携しながら、各園の事案に対応することも出てくると思いますので是非とも理解を深めていただければと思います。	
	俯瞰図番号	F3 (マネジメント) :子どもが育つ家庭や地域>社会資源>社会資源の理解> (専門機関との連携) >ソーシャルワーク	
	備考	<キーワード> ソーシャルワーク、現代社会の家族・地域、保育ソーシャルワークの方法、個別支援計画	

＊配信予定の記載がない限りR5.2.22～R5.5.19の録画配信となります。

第65回 大阪府私立幼稚園教育研究大会 研修テーマ一覧

60	テーマ	(学校評価シリーズ) 学校/施設関係者評価の実施/公表と公開保育の実施による助成や加算について	30分 通年配信中
	講 師	水谷 豊三 氏 (日吉幼稚園・全日私幼連政策委員会委員長) 淡野 宏仁 氏 (新ひのお台幼稚園) 背尾 康裕 氏 (念法幼稚園) 北島 孝通 氏 (庄内こどもの杜幼稚園)	
	内 容	ECEQ®をはじめとした公開保育を活用した学校評価については、令和2年度から私学助成および施設型給付の両方で助成や加算がつくようになりました。私学助成の助成については大阪府と、施設型給付の加算については各市町村との連携が必要です。本研修動画では、その予算をきちんと執行することの意義を全日私幼連・政策委員長の水谷豊三氏に語ってもらうほか、私学助成園が大阪府とそして施設型給付園がそれぞれ異なる市町村とどのように連携して、学校評価（自己評価と学校/施設関係者評価）の実施と公開保育を組み合わせた助成と加算を得たかについて説明していただきます。	
	俯瞰図番号	E7 (マネジメント) : 保育実践＞保育の振り返りと評価＞実践の評価＞評価結果に基づく社会への発信	
	備 考	<キーワード>学校関係者評価、施設関係者評価、公開保育、助成・加算	